

# 京都観世会八月例会

令和4年8月28日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)



主催 公益社団法人 京都観世会

〈能〉  
放下僧

味方團

〈狂言〉  
吹取

野村又三郎

〈能〉  
浮舟

杉浦豊彦

〈能〉  
融

橋本擴三郎

舞返之伝

## 会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44 (東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み

☎ 075-771-6114

<http://www.kyoto-kanze.jp>

WEBサイトの公演情報からご予約が出来ます。



本公演は新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿った対策に取り組み開催致します。  
前売券は7月1日(金)より発売致します。

◆WEBで指定席が購入できます◆

一般前売指定席券 (1階)	8,000円	※webにて販売
一般前売自由席券	6,000円	
一般当日券 (自由席)	6,500円	
学生券 (2階自由席)	3,000円	

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

### 京都観世会館案内図



東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

- ◆京都観世会館へは
- JR京都駅から —
- 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
徒歩約3分 (乗車時間約30分)
- 市バス[86][206]で「東山仁王門」下車  
徒歩約5分 (乗車時間約30分)
- 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」にて東西線に乗り換え  
「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
- 阪急京都河原町駅から —
- 市バス[31][46][201][203]で「東山仁王門」下車  
徒歩約5分 (乗車時間約15分)
- 京阪三条駅から —
- 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
徒歩約3分 (乗車時間約7分)
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
- JR二条駅から —
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
- 山科・醍醐方面から —
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9~17分)
- 地下鉄東西線「東山駅」から —
- ①番出口から徒歩約5分



# 京都観世会八月例会

教野小次郎 田茂井廣道

## 放下僧

味方 團  
利根信俊 大日方 寛  
信俊の從者 野村又三郎  
大鼓 河村裕一郎  
小鼓 曾和 鼓堂 菅 森田保美

(能)

## 吹取

何某 野村又三郎  
お告げの女 伊藤 泰  
男 野村信朗  
休憩二十分

(狂言)

## 浮舟

杉浦豊彦  
旅僧 福王和幸 大鼓 守家由訓  
小鼓 林 吉兵衛  
上京辺の者 松田高義  
休憩十五分

(能)

江口 キリ (仕舞)  
大江 山 深野貴彦  
河村浩太郎

(二時四十分頃)

## 融

橋本擴三郎  
旅僧 殿田謙吉 大鼓 河村 大  
小鼓 吉阪 一郎 太鼓 井上 敬介  
六條辺の者 野村信朗 菅 左 鴻泰弘

(能)

## 後見・地謡

林 宗一郎 (後見) 谷 弘之助  
浦田保親 (地謡) 河村和晃 浦部 幸裕  
宮本茂樹 古橋 正邦  
松野浩行 片山 伸吾  
味方 玄

(後見) 松田高義

大江 信行 (後見) 寺澤 拓海 吉浪 壽晃  
大江又三郎 (地謡) 大江 広祐 青木 道喜  
河村和貴 片山 九郎右衛門  
橋本忠樹 河村 晴道

梅田 嘉宏  
河村 晴久  
浦田 保浩  
浦田 保親

橋本 光史 (後見) 河村 紀仁 分林 道治  
橋本 雅夫 (地謡) 樹下 千慧 河村 和重  
大江 泰正 井上 裕久  
吉田 篤史 越賀 隆之

## 解説

放下僧 下野国の住人牧野小次郎は、父の左衛門を相模國の住人利根信俊に討たれた。小次郎は出家して近くの会下(主として禅家の修行道場)に身を寄せた。兄は出家の身としていかにあろうかと、小次郎が唐土の故事を語って兄を説得する。しかし、仇の利根信俊を油断させるべく放下に変装し、兄弟は仇討ちに出発する。放下とは大道芸人である。(中入)さて、こちらは利根信俊、このところ悪い夢ばかり見るので、瀬戸の三島明神に参つてご利益を願おうと、しのびの旅をしている。信俊は從者に「一名を明かすな」と命じる。そこへ放下姿の小次郎兄弟がやって来て浮雲・流水(ふうん・りゅうすい)と名乗り、從者から信俊へと名を告げらう。信俊は禪問答に興じ、彼らが仇討ちに来たとは知らず供を許し、彼らの曲舞・鞆鼓・小歌の芸に見入る。やがて眠気が襲ってききたところに、兄弟は走りより、終に本望を遂げるのだった。

## 浮舟

初瀬から都へ向かう旅の僧が、宇治川で芝船に乗る女と出会う。女は僧の問いに、昔この地にいた浮舟の物語を語り、光源氏の子(実は柏木の子)である薫に愛された浮舟は、朱雀院の子である兵部卿の匂宮に通じることになり、二人への想いに耐えられず、姿を消した。詳しく語る女に、僧は住まいを尋ねると、小野の者と答え、物の怪に苦しむ身の救いを求めて消え失せるとも姿を消す。(中入)所の者から浮舟の物語を聞いた僧は、小野に行き、経を讀んで甲いをする。すると、浮舟の霊が現れ、物の怪に取り憑かれ、心も空になった有様を見せるが、僧の甲いに助けられたことを喜び、夜明けとともに姿を消す。

## 融

東國の僧が都に上つて、六条河原院の跡に着いて休んでいると、田子(たのこ)を担った老人がやってくる。この辺りの人かと尋ねると、この所の汐汲みだと答える。僧が海辺でもなし土地で汐を汲むとはおかしいと言くと、こは昔、源融公が広大な屋敷を造り、庭内に陸奥の塩釜の景観を移したところであると答える。老人は僧の問うままに、融が毎日に難波の浦から潮水を運ばせここで塩を焼かせるという豪奢な風流を楽しんだが、相続をする人もなく荒れ果てしまったことを物語る。そして、遠近の名所を教え、やがて汀に立ち寄り汐を汲むかと思ふと、姿は消え失せる。(中入)その夜、僧がそこで仮寝をしていると、融が貴人の姿で現れ、昔を偲んで名月の下で舞をまわし、夜明けとともに月の都へと帰ってゆく。

## お客様へお願い

- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

## 【表紙写真】

《浮舟》杉浦豊彦  
金の星渡辺写真場撮影

## 次回予告

### 京都観世会九月例会

令和4年9月25日(日)

午前11時開演

- (能) 輪藏 井上 裕久
- (能) 仏師 茂山 千之丞
- (狂言) 井筒 河村 晴道
- (能) 善界 味方 玄

## 【お知らせ】

当館ではアルコール消毒液の設置や、多くのお客様が手に触れる箇所には定期的に清掃・消毒を行っております。  
。「検温」「マスク着用」「咳エチケット」「手指消毒」のご協力をお願い申し上げます。  
。突然・咳など風邪症状のある場合は、(来館前に医療機関に)相談ください。  
。「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。  
今後の状況の変化により、当日券販売の有無や催し物の内容変更または延期となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

附祝言

(終了予定 四時退)